

所属・氏名（ 薬学部 薬学科 氏名：前田 志津子 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) Estimation of occupational exposure to drugs during tablet crushing	共著	2016年 6月	Fundamental Toxicological Sciences	<p>医薬品曝露の一因である錠剤粉砕によりどの程度の粉じんが発生しているか実験室でモデル実験を行い測定した。併せて、粉砕作業者が吸引する医薬品の予測も行った。その結果、錠剤粉砕によってかなりの医薬品粉じんが飛散していることが明らかとなった。 (総ページ数：7頁) (<u>Shizuko Maeda</u>, Eiko Takahashi, Yoshitaka Tayama, Shigeyuki Kitamura, Toyohisa Tsukamoto, Katsushi Miyake, Kazumi Sugihara)</p> <p>共同研究につき本人担当部分抽出不可能</p>
2 (学術論文) 患者の保険薬局の選択に影響を与える重要因子の抽出—患者アンケートの分析結果に基づくかかりつけ薬局へのアプローチ—	共著	2017年 4月	薬局薬学 9(1), 96-105	<p>保険薬局を利用する患者に対してアンケートを実施し、「かかりつけ薬局化」への重要因子を抽出したところ、かかりつけ志向へ影響を与える上位の変数として受診医療機関数、年齢、薬局評価の3因子が抽出された。 (総ページ数：9頁) (尾川 雄一、大和 浩之、三田 将史、横山 敬子、細川 暁則、松浦 征也、中野 昇、<u>前田 志津子</u>、佐和 章弘、三宅 勝志)</p> <p>共同研究につき本人担当部分抽出不可能</p>
3 (学会発表) 薬剤師の医薬品曝露調査～軟膏混合調剤時における医薬品曝露の検討～ 【ポスター発表】		2020年 10月	第30回 日本医療薬学会 年会	<p>軟膏混合調剤時における医薬品曝露の実態を調査し、その低減方法を探索することを目的に、軟膏混合調剤モデル実験による軟膏付着度合調査を実施した。 (<u>前田 志津子</u>、藤瀬 晟、佐々木 まい、田山 剛崇、杉原 数美、三宅 勝志)</p>
4 (学会発表) アンケート解析から考える軟膏の付着傾向とその特徴 【ポスター発表】		2021年 3月	日本薬学会 第141年会	<p>軟膏混合調剤作業における医薬品曝露に焦点を当てたアンケート調査を実施し、その結果から軟膏調剤における医薬品曝露の実態を調査し、軟膏が付着しやすい要因や混合調剤のどの工程で軟膏が付着しやすいか、どの部位に付着しやすいかなどの検討をおこなった。加えて、軟膏の混合方法と軟膏付着の関連についての検討もおこなった。 (<u>前田 志津子</u>、佐々木 まい、田山 剛崇、杉原 数美、三宅 勝志)</p>
5 (学会発表) 唾液中 nicotine 濃度の半定量法の確立 【ポスター発表】		2021年 3月	日本薬学会 第141年会	<p>禁煙治療が健康保険適応となり、禁煙を希望する喫煙者に対し、禁煙補助薬であるニコチン製剤を投与する場合が増加している。ニコチン製剤の投与设计は、患者の喫煙本数によって決定されるが、ニコチン製剤の投与设计において、nicotine およびその代謝物濃度も有用な情報となる。今回、ニコチン製剤を販売している薬局においても簡便に nicotine 濃度評価を行える手段を開発したので、その方法について報告した。 (村上 拓弥、田山 剛崇、<u>前田 志津子</u>、佐和 章弘、北村 繁幸、杉原 数美、三宅 勝志)</p>